

2021.12.11~12

富士山トレーニング 山行報告書

記 柴田



計画書整理 No.

期 間：2021年 12月 11日（土）～ 12月 12日（日）

種 別：合宿（合同トレーニング）

山 域：富士山

参 加 者：鎌田さん、関さん、工藤さん（ベルニナ3名）、澤井さん（東京緑1名）
河本さん、柴田（横須賀2名）

コースタイム：12月11日（土） 4:00 神奈川 →7:00 道の駅富士吉田 →8:30 馬返
→10:00 三合目 →11:30 佐藤小屋 →トレーニング →16:00 佐藤小屋

12月12日（日） 6:15 佐藤小屋 →6:45 六合目 →7:30 大沢 →11:00 八合目
→14:00 佐藤小屋 →16:00 馬返

記録

他の会の方々と合同で富士山にてトレーニング及び山行を行った。11日（土）に佐藤小屋まで登り、近くの斜面で技術トレ、12日（日）山頂へピストンしたが、8合目付近で撤退し下山した。

以下、詳細

1日目 晴

7時に道の駅富士吉田に集合だったので、4時に神奈川を出発した。思ったよりも近くて高速を使用して2時間ほどで到着した。道の駅で他の会の方と打ち合わせをした後、中の茶屋奥の馬返に集合して8時過ぎに出発した。

歩き出しは雪はなく、段々と雪が多くなり2合目に着く頃には地面は真っ白になっていた。10時頃3合目を通過し、11:30には佐藤小屋に到着した。佐藤小屋から少し離れた所まで幕が張っており、張るところがあるか不安だったが、小屋横のスペースが幸いにも空いており、2張設営できた。



三合目にて

幕を張り終えて、ハーネス等を履き準備を整えて佐藤小屋から山頂方面に少し歩いた場所から、道を外れて各自トレースをつけながら150m程上の斜面まで登った。斜面が横向きになったルンゼのような場所を選んでトレーニングを開始した。

今回はベルニナ鎌田さんの指導のもとスタンディングアックスビレイと肩がらみ確保を教わった。ビレイヤーのセルフ用に斜面の上の方の木からザイルを垂らし、念の為落ちた先に引っ掛かる様に下の方にフィックスを張った。その上でビレイヤーとソリに乗って滑り落ちる人を交代でこなし練習した。

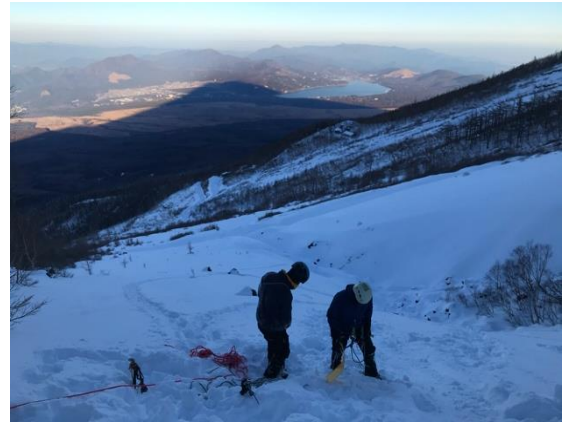
肩がらみはクライマー側のロープを左右どちらかの腰から背中、腰と反対の肩と言う順にザイルを通し、肩から垂らしたロープを胸のあたりで握ってビレイする。止まる原理は、あくまでロープが身体に巻き付いてかかる摩擦の力なので、ロープを握りすぎず、つかからないよう流しながら止める。また墜落者に引っ張られないよう足場を確保して身体を後ろに引きながら行うと良さそうだった。

スタンディングアックスビレイはアックスを足元に埋め込み極力短いスリング等で遊びを作ってカラビナを連結しザイルを通す。あとは肩がらみと同じ様にザイルを巻き付けて止める。注意点は肩がらみのように引っ張られないよう身体を後ろに引くのではなく、直立不動で衝撃を真下にかけるようにする。また衝撃を真下にかけるために、支店の位置を極力真下に近づけるとも重要とのこと。

訓練を2時間程した後、16:30ごろ佐藤小屋に戻った。



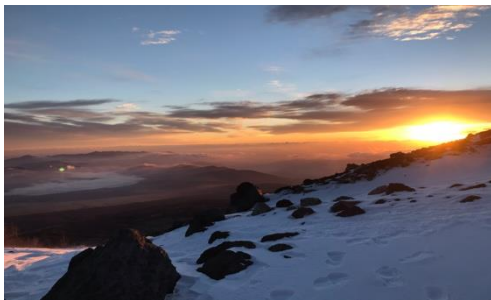
トレースをつけて歩く



ビレイの練習風景

2日目 晴 強風

1. 翌朝5時に起床し、6時ごろ佐藤小屋を出発した。先行パーティも多くトレースもしっかりしていた。7時前には6合目に到着、ここでご来光を見て引き返す方も多かった。そこからしばらく夏道を登ってから道を右に逸れて大沢に入った。沢に入り込むまでは尾根上の雪の少ない箇所を登っていたが、アイゼンがしっかり効いて大変登りやすかった。自分達は7合目の辺りで夏道に戻ったが、残りの3名は大沢に残って沢を突き上げていた。夏道は強風で所々フラつく箇所もあり、所々ヒヤヒヤしたが、道自体は明確で分かりやすかった。他のパーティの方も同様に夏道を登っていたが、風で引き返している人が殆どだった。



6合目で日の出



8合目手前 風が強く雪煙が舞っている

対する大沢は直前の雪で吹き溜まりになっており、一部腰くらいまでの雪があった。こちらにも強い風が吹いていたが、吹き飛ばされる心配はなさそうだった。

自分達は8合目の辺りで強風で危険と判断し、トラバースして大沢グループと合流、12時近くまで行けるところまで登って下山を開始した。障害物が少なく傾斜があったので、アイゼンを脱いでお尻で滑りながら下山した。14時すぎには佐藤小屋に到着し、お茶を飲んでから撤収して16時には馬返に到着した。



大沢を登る様子

感想

今回はベルニナさんの雪上訓練に参加させていただき、東京緑の方も加わって3組合同での訓練をさせていただきました。普段は会の方と山行に行くので、新しい発見も多く、とても充実した勉強になる訓練となりました。確保の仕方、山の歩き方等まだまだ自分の足りない技術を学ばせていただきました。今後の山行で活用していきたいと思います。

また個人的には前々からお話を伺っていた方々と一緒に山に行けてとても楽しかったです。是非今後機会がありましたら、またご一緒させていただければ幸いです！皆様ありがとうございました。